

〔答弁〕平成25年度と比較して入館者が3千733人、7.7%ほど増となっている。

その主な要因は、夏休み等の平日もA.Z.9パスポートの利用を可能にしたり、各教室の回数を増やした。また、イベントや合宿等の誘致をしたことで増加となった。

衛生費

〔質疑〕放射能対策事業について、民家除染は、月日がたつと0・23マイクロシーベルトを超える場所もある。また、通学路でも雨などにより放射能が高くなっているところもある。今後の放射能測定も含めてどのような対応をしているのか伺う。

〔答弁〕民家除染は、平成25・26年度の事業により実施したが、その後の検証も必要である。今年度、その効果が持続しているかを確認するため、空間放射線量事後モニタリングを実施している。また、通学路の除染について

では、除染廃棄物の置き場等の問題、さらに事故発生後4年半経過しているため、今年度中に再度、通学路の空間放射線量を測定し、その結果を受けて処理の方法を検討していきたいと考えている。

〔質疑〕生ごみ資源化事業所（シリウス）及び併設する農業ハウスについて、今後の利活用はどのようになるのか伺う。

〔答弁〕シリウスは、7月末をもって休止し、現在の施設の清掃業務を行っている状況である。

この施設の建設は、農林水産省の補助金を活用して建設しているため、補助金適正化法に基づく財産の取り扱いについて、現在、東北農政局と協議中である。この結果を踏まえ、廃止の時期や今後の利活用について慎重に検討していきたい。

また、農業ハウスについては、今年度、イチゴの苗等を植えて保育園の園児の皆さんなどに提供していく予定であるが、来年度以降は、まだ決定していない状況である。

農林水産費

〔質疑〕有害鳥獣対策事業における震災以降の被害の総額とその対策について伺う。

〔答弁〕震災以降の被害については、平成24年度は、被害面積が911アール、被害金額は568万6千円、捕獲したイノシシの頭数は85頭である。

平成25年度は、被害面積が3千376アール、被害金額は2千761万3千円、捕獲頭数は589頭である。

平成26年度は、被害面積が5千899アール、被害金額は5千634万2千円、捕獲頭数は834頭である。

主な対策は、被害防除のため、農家への電気柵補助をしている。また、猟友会に有害鳥獣被害対策実施隊を組織してもらい、捕獲したイノシシ1頭当たり昨年度まで2万円の補助をしている。そのほか、箱わなの補助などの対策を行っている状況である。

商工費

〔質疑〕観光振興事業において、平成26年度から白石市民春まつりとこけしコンクールの会場にバスを歩き来させ、相乗効果による観光客の市内滞留を図っているが、その効果と成果について伺う。

〔答弁〕春まつり協議会が企画し、こけしコンクール会場

と春まつり会場を結んでスタンプラリーを実施しており、お互いの会場を歩き来することで、それぞれのイベントの理解が深まり、非常に効果はあったと考える。

この相乗効果による成果は、平成26年度は約250人、平成27年度は約500人である。

平成26年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	16,639,726,669	15,946,912,069	692,814,600
特別会計	8,152,907,798	7,802,029,018	350,878,780
国民健康保険	4,383,898,313	4,138,050,673	245,847,640
介護保険	3,382,411,899	3,298,735,733	83,676,166
後期高齢者医療	386,597,586	365,242,612	21,354,974
合計	24,792,634,467	23,748,941,087	1,043,693,380

平成26年度 企業会計決算の収支状況

〔消費税相当額を含む〕〔単位：円〕

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	1,011,887,238	930,982,055
下水道事業	1,054,282,153	1,079,397,993